



# ヤマザクラ

2021 年（令和 3 年）4 月 23 日（金）発行

## 森林と市民を結ぶ全国の集い 2021 における福島プログラムの報告

副理事長 松崎和敬

3 月 7 日～14 日にかけて「第 25 回森林と市民を結ぶ全国の集い 2021」（主催国土緑化推進機構事務局森づくりフォーラム）が開催されました。今回は東北 3 県（岩手、宮城、福島）と東京が連携して企画し、初となるオンライン配信により行われました。

第 19 回全国の集いが 2015 年 6 月、福島県において行われ、本会が事務局を担当したことから、今回も福島プログラムに関わることになりました。

福島プログラムのテーマは「東日本大震災から 10 年、福島県の現状と新たな活動」とし、3 月 10 日に次のような内容で発表しました。

司会は、本会会員でもあり、海岸林再生整備に取り組んでいるトチギ環境未来基地の塚本氏が行いました。

- 1 3. 11 被災者を支援するいわき連絡協議会「みんぷく」の 10 年間の活動から見た福島県の現状と市民による復興に向けた取り組み（みんぷく事務局長）
- 2 福島県の森林の現状について、特に放射線量のモニタリング調査結果についての報告（県北農林事務所林業課長）
- 3 県内の森林づくり活動の現状報告
  - (1) 震災 10 年前から活動している団体の活動が震災後どう変化したか。（本会の活動状況について報告）
  - (2) 県内森林づくり団体の活動の現状（ふくしまグリーンフォレスターの会会長）
  - (3) 地域おこし協力隊が 2020 より取り組み始める新たな活動（田人地域おこし協力隊）

詳しい発表内容は 6 月以降森づくりフォーラムのホームページに掲載される予定です。（[www.moridukuri.jp/boridukuri/tsudoi.html](http://www.moridukuri.jp/boridukuri/tsudoi.html)）

以下、本会が報告した内容について説明します。

<3. 11 の本会活動への影響>

- (1) いわき市内における野外での活動は放射線の問題を心配する者が多く、活動を控える者が多くなった。
- (2) 本会の活動拠点においては震災による影響は殆どなかったが森づくりにかかわっている会員の多くが放射線への心配から活動自粛するようになり震災前の状況に戻ったのは約半数にとどまった。
- (3) 湯ノ岳山荘が全国各地から復興支援に来られたボランティアの拠点となり、多くの方々との交流ができた。
- (4) 津波による海岸林再生のための協力要請のあったトチギ環境未来基地との協働ができ、そのなかで国際ワークキャンプの存在を知り、2016 年以降の受け入れにつながった。

(5) 2012年秋、苗木の機械による栽培のため試験場として20数年前に廃園となっていた栗園跡地の利用を紹介したが2年で中断したため、この場所の再生整備に本会として取組むことになる。

ここでは、行政の依頼もあり被災地支援のために充てられた苗木の植樹場所にもなった。

現在はクヌギの薪炭林とカエデの観察林を追加して整備している。

(6) 国土緑化推進機構の依頼で、いわき市と隣の双葉郡の幼稚園、小学校などへの支援活動を行うなかで、多くの子どもたちとの交流ができ、その後の森林環境教育支援活動に役立つことになった。

また、21世紀の森公園へのプロ野球の森整備についても実施することになった。

<新たなチャレンジ>

(1) スギのポット苗の栽培事業への取組み

2015年度より地元林業会社と協働で取組んでいる。

(2) 自然学校開設

いわき市初の自然学校を2022年度に開設するために2020年度より準備している。

## 【森林整備班の活動報告】

### 1 定例活動

今期は、ナラ枯れ木の除伐と伐木処理の作業が中心になりました。

(R3.1.4～3.31)

月 / 日	曜日	天候	作業事項	参加者(名)
1/6	水	晴	作業機械整備点検	7
13	水	晴	伐木処理	6
16	土	晴	竹除伐	3
20	水	晴	栗園跡地クヌギ除伐	3
27	水	曇 晴	伐木処理	7
2/3	水	晴 曇	枯損木除伐	5
6	土	晴	〃	4
10	水	晴	伐木処理	5
17	水	晴 曇	〃	3
20	土	晴	枯損木除伐	6
24	水	晴	枯損木除伐及びクヌギの楕木作り	7
3/3	水	晴	枯損木除伐	4
6	土	晴	伐木処理	5
10	水	晴	枯損木除伐	5
17	水	晴	伐木処理	3
20	土	曇	〃	5
24	水	晴	枯損木除伐、伐木処理	7
31	水	晴	〃	5
計				90

### 2 定例整備以外の活動

(1) 1/18～3/25の間、国際ワークキャンプ参加者2名に対して森林整備を中心とした指導を行い

ました。

(2) ナラ枯れを含めた枯損木の除伐を今期も行いました。

### 3 海岸林整備作業

海岸林整備活動は次のとおりです。

(R3.1.4～3.31)

月 / 日	曜日	作業の内容	会員・未来基地	ボランティア	計
1/9	月	下刈り、植樹	4	0	4
23	火	〃	5	0	5
24	火	〃	4	0	4
2/20	水	〃	10	0	10
21	月	〃	8	0	8
3/20	火	〃	5	0	5
		計	36	0	36

(松崎記)

## 【農業班の活動報告】

今年の冬は雪がほとんど降らず、降雨も少ない乾燥した冬でした。

農作業は恒例の寒起こし、落ち葉堆肥作りなどからスタートしました。

### 1. 寒起こし、および落ち葉収集と堆肥作りなどの作業

1月から2月にかけて、4個所の畑で寒起こしの作業を行いました。

また、それと並行して落ち葉の収集と堆肥作りも行いました。

ビニールハウス内では、落ち葉を利用した温床を作り、さつま芋の苗作りを開始しました。



3月10日、温床のさつま芋の発芽

### 2. 国際ワークキャンプのボランティア来場し、農作業を行う

1月25日に2名、3月1日は9名が農作業に参加。

毎年春に行う、畑の周囲の排水溝の堀上げ（大雨に備えた）の作業も行いました。

写真は3月1日のボランティアが溝堀り作業を行っているところです。



3月1日、排水溝掘り作業

### 3. その他

- 1) 渇水のため、2/8に山荘から池の水500Lを2回運搬しました。
- 2) 畑の土壌改良のため、2/27に馬糞堆肥を搬入しました（平子幸男さんの紹介）。
- 3) 強風のため、イノシシ避けフェンスの一部が損壊。補強の杭打ちを行う（2/13）。

（農作業班 太田 記）

### 【木工班の活動報告】

今期は男性班、女性班共に筆箱を作りました。  
男性班は寄木細工の技法を使ったものです。その作品は次のとおりです。



### 【プログラム班の活動報告】

#### 1 学校・幼稚園の支援活動

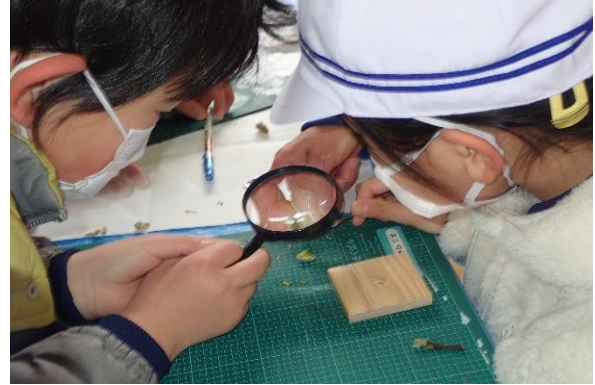
今期は1月に3回、2月に2回それに3月に1回合わせて6回の支援を行いました。  
その一覧は、別表のとおりです。

学校等における学習支援活動(1/1～3/31)

No.	月 日	学校等名	学年	学習	参加者数	支援者数
1	1月13日(水)	藤原幼稚園	年長	木工クラフト	16	5
2	1月21日(木)	平六小	3	総合学習	36	12
3	1月28日(木)	中央台北小	4	総合学習	45	12
4	2月22日(月)	藤原小	3	総合学習	24	6

5	2月24日(水)	錦東小	3	総合学習	28	6
6	3月11日(木)	平六小	3	総合学習	35	11
	計				184	52

その活動のようすは、次の写真のとおりです。



## 2 班の自主活動

石森山生活環境保全林散策 1月7日(木)

参加者 11名

21世紀の森の四季の森散策 2月4日(木)

参加者 12名

ときわ台生活環境保全林周辺散策 3月25日(木)

参加者 10名

(佐藤 烈記)

## 【ろうきん森の学校の報告】

### 1 令和3年1月17日（日）（天候・曇）

#### (1) 実施内容

① 自然観察会 ② 自然体験活動

(2) 参加者数 47名

#### (3) 実施結果

今回の自然観察会は「冬芽とロゼットを探してみよう」とのテーマで、大人と子供中心の2班で実施しました。大人班は植物の冬の過ごし方の観察を中心に、子ども班は冬芽の観察を中心に行いました。観察後は子ども中心に餅つきと団子さしをしました。

昼食はついた餅をきな粉やあんこ、大根おろし等好みの味で食べました。味噌汁はキノコ汁でした。



### 2 令和3年2月21日（日）（天候・晴）

#### (1) 実施内容

① 自然観察会 ② 自然体験活動 木工クラフト

(2) 参加者数 41名

#### (3) 実施結果

自然観察会は「冬枯れの森を歩こう」というテーマで実施しました。大人の班と親子の班の2班に分け山荘周辺で膨らんできた木々の冬芽を観察しました。

自然体験活動として今回はのこぎりを持ち森の手入れを行いました。

木工工作では、子供中心に割りばし鉄砲を作り、的当てをして遊びました。



### 3 令和3年3月21日（日）（天候・雨）

#### (1) 実施内容

(2) 自然観察会 ② 自然体験活動 ③ 木工クラフト

(2) 参加者数 43名

(3) 実施結果

今回の自然観察会は「早春の野草を探そう」というテーマです。親子班と大人班に分かれ山荘周辺を歩き、オオイヌノフグリ、シュンラン、ウグイスカグラなどが咲いているのを見つけてきました。観察会の後にコナラのホダ木にシイタケの菌を植える体験をしました。

木工クラフトでは、親子で木の実のストラップを作りました。



(佐藤 烈記)

## 【国際ワークキャンプ】

中長期のワークキャンプを1月18日から3月25日までの間で2名、短期のワークキャンプを2月23日から3月4日の間7名受け入れました。

中長期メンバーのうち1名は男性、大学3年生で全期間活動、もう1名は1月18日～2月6日の間、NICEの女性スタッフ、2月6日～3月25日の間男性、大学2年生でした。

短期は全員大学生で男性3名、女性4名でした。今回もコロナの影響により全員日本人でした。活動内容は次のとおりです。

月 日	天候	午 前	午 後	夜	参 加 者		
					ワークキ ャンプメン バー	地元 メンバ ー	計
1月18日	曇晴		ミーティング、フィールド案内		2	2	4
19	晴	竹林整備	大駐車場境界作り		2	2	4
20	晴	栗園跡地整備	竹林整備		2	4	6
21	晴	刈払作業	刈払作業		2	1	3
22	晴	刈払作業	除伐作業		2	2	4
23	曇	スギ苗作業	子供の遊び場 トンネル補強作業		2	2	4
24		休 日					
25	晴	農作業	チップ処理		2	12	14
26	晴曇	刈払作業	スギ苗作業		2	3	5
27	曇晴	除伐作業	除伐作業		2	7	9
28	曇	除伐作業	除伐作業		2	2	4
29	晴	除伐作業	除伐作業		2	2	4

30		休 日					
31		休 日					
2月1日	曇	農作業	伐木処理		2	10	12
2	曇晴	木工工作	チップパー処理		2	2	4
3	晴曇	除伐作業	伐木処理		2	2	4
4	晴	除伐及び刈払作業	植樹場所整備		2	2	4
5	晴	野イチゴ採取、植付作業	薪割り		2	3	5
6	晴	除伐作業	薪割り	地元メンバーとの交流会	2	4	6
7		休 日					
8	晴	農作業	除伐作業		2	12	14
9	晴	除伐作業	除伐作業		2	2	4
10	晴	除伐作業	伐木処理		2	6	8
11	晴	田人地区農作業	田人地区農作業		2	2	4
12	晴	伐木処理	伐木処理		2	2	4
13		休 日					
14		休 日					
15	雨	作業道具手入れ	木工工作		2	1	3
16	晴	伐木処理	伐木処理		2	1	3
17	晴曇	伐木処理	伐木処理		2	3	5
18	晴	伐木処理	伐木処理		2	1	3
19		休 日					
20	晴	除伐作業	ほだ木作り		2	6	8
21	晴	森の学校参加	植樹作業		2	2	4
22	晴	農作業	チップパー処理		2	10	12
23	晴	チップパー処理	チップパー処理 短期メンバーフィールド案内及びミーティング		2 7	2 2	4 9
24	晴	栗園跡地ほだ木作り チップパー処理	伐木処理 チップパー処理		9	9	18
25	晴	伐木処理 チップパー処理	ササ刈り、除伐作業		9	2	11
26	曇	スギ苗作業	除草除伐作業		9	4	13
27	晴	薪運び、作業道作り	作業道作り、除草除伐作業		9	3	12



28		休 日					
3月1日	晴	農作業	ササ刈り		9	11	20
2	雨	木工工作	木工材料作り		9	3	12
3	晴	除伐作業、薪割り	除伐作業、自然観察	地元メンバーとの交流会	2 7	5 3	7 10
4	晴	清掃、振り返り(短期メンバー) 休日(中長期メンバー)			7	1	8
5	曇晴	伐木処理	伐木処理		2	2	4
6	晴	伐木処理	ツツジ移植		2	2	4
7		休 日					
8	曇	農作業	薪割り		2	11	13
9	曇晴	ササ刈り	薪割り		2	1	3
10	晴	除伐作業	薪割り		2	6	8
11	晴	田人地区農作業	田人地区農作業		2	2	4
12	曇	田人地区農作業	田人地区農作業		2	2	4
13		休 日					
14		休 日					
15	曇晴	鮫川村自然学校見学	鮫川村自然学校見学		2	1	3
16	晴曇	伐木処理 チップ処理	ササ刈り 木道修理		2	5	7
17	晴	伐木処理	伐木処理		2	1	3
18	晴	伐木処理	伐木処理		2	1	3
19		休 日					
20	曇	伐木処理 チップ処理	伐木処理 チップ処理		2	2	4
21	雨	森の学校参加	キノコのコマ打ち作業		2	2	4
22	曇	キノコのコマ打ち作業	ほだ木の伏せ込み		2	2	4
23	晴	伐木処理 チップ処理	伐木処理 チップ処理		2	2	4
24	晴	伐木処理 チップ処理	伐木処理 チップ処理	地元メンバーとの交流会	2	9	11
25	曇	小川地区自然観察会	清掃、振り返り		2	2	4
					171	208	379



## 【木工工作研修会開催】

3月16日、オンラインによる研修会を開催しました。講師は埼玉大学浅田茂裕教授です。

当初予定では1月9日～10日にしておりましたが、コロナの影響で埼玉県から県外への外出ができなくなり延び延びになっておりました。

今回は先生が事前に準備した図面と材料を送っていただき、それをベースに木工班のスタッフが製作した上での開催となりました。

当方からは製作する過程のなかでの疑問点などを質問し、先生からはいろいろなアドバイスをもらうことができました。

従来のように直接指導していただくこととは違った学びが出来ました。

オンラインの取り組みは今後の本会の活動にも参考になることが多くあるのではないかと思います。



(松崎 記)

(発行) NPO 法人いわきの森に親しむ会  
(発行責任者) 木田章一  
(事務局) 〒972-8326 いわき市常磐藤原町湯ノ岳2  
湯ノ岳山荘内  
TEL/FAX 0246-44-3273  
E-mail:yunodake@gray.plala.or.jp  
HP:http://iwaki-mori.jimdo.com/